

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、新たな公務員の働き方改革は住民サービスに出来るものとなるか。</p> <p>【質問趣旨】 2020年度から自治体の非正規職員に「会計年度任用職員」の制度が導入されることになりました。</p> <p>併せて人事評価制度の具体化をはかることが、国から求められているがそれは行政や公務員の働き方に大きな変化をもたらすと思われます。</p> <p>このような公務員の働き方改革は果たして本当に住民のサービスに出来るものか伺う。</p>	<p>(1) 今回の公務員の働き方改革の一つが長時間(残業)労働の規制です。</p> <p>今年の3月には残業時間の規制条例が市議会にも提出された。</p> <p>実施からまだ少ししか経っていないがその実態を問う。</p>	<p>① 今回は残業時間を月45時間、年間360時間を上限としているが、4月～6月までの間、どれほどの職員が残業の規定をこえているか。</p> <p>② また、人事院の規則が変わり1ヶ月でも80時間を超えた職員は産業医の診断を受けるべきですが、対象はどれ程か。</p> <p>③ 今回は、残業の規制として、かつて、本人の申請とされていましたが、現在は、上司の管理・監督の下で実施するシステムとされたが、それでも一定数の残業者のいることをどう分析をされたか。また、上司は残業時間が多くなることを理解しつつ、残業の命令を出しているのか。</p> <p>④ 職員の健康を考えた場合、残業の規制を守られることが大切であるが、その中に36協定の職場があれば、それは労基法違反ではないか。</p> <p>⑤ 現行でも季節やイベントによっては残業になる職場などもあることからそれらの職場については他律的業務と指定されたが、市はどのような基準でどの課、又はどの業務を選定されたか。</p> <p>⑥ いくら他律的とされても過労死ラインに近づくような勤務形態は問題と考えるがどのような対応がされたか。</p> <p>⑦ 全体的に残業規制をより厳格に守るために上司の指示以外にどのような改善がなされるのか。</p> <p>⑧ この間、残業時間の多い係について他律的業務としたとされるが、職員の働くシステムについてどう検討がされたのか伺う。例えば業務によっては日中は市民の相談があり、午後はそのまとめ、退庁時頃によろしく、今後の市民サービスの充実についての検討会などがある。そのような職場については、その解決方法についての検討こそ必要です。正規職員増を含む検討こそ必要ではないか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(2) 同様に専門職 (かつて現業ともいわれていた) についての対応はどのように改善されたか。</p> <p>(3) もう1つの改革として人事評価 (考課) 制度の具体化がよりすすめられるとされるが、その内容について伺う。</p>	<p>⑨課や業種によって残業が多い場合には、36協定を結ぶなどの対応は考えられないか。</p> <p>⑩残業規制を守っていくためにもタイムカードなどの設置をし、客観的に見える化をはかるべきではないか。</p> <p>① この間、保育士や消防士など一定の増員がはかられたが、H28年度から3か年の残業についてはどのような状況か。また、土木技師などの他の専門職はどうか。</p> <p>② 職域によっては上司が残業を極力おさえたなどの話も伺う。それらについての指導はどのようにされているか。結局はもちかえり残業とならない指導こそ必要と考えるが、市はどのようにチェックされているか。</p> <p>③ またとりわけ非正規の方の残業についてはどのように対応されているか。さらに、手当についてはどのように考えられているか。</p> <p>④ 専門職、一般職について残業規制がより厳しくなる中で、何故残業をしたのかの検証がされることになったが、市はどのように活用されるか。</p> <p>① 今回の人事評価 (瀬戸市の場合は考課) については2018年 (H30年度) からは処遇への反映がされたが、具体的にはどのような内容か。</p> <p>② 処遇面への反映により、本人の意欲の低下、そして職場の人間関係など、本人にとっては大きな負担となり、それが本当の評価と言えるのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③ 改めて人事評価（考課）の具体的な取り組みについて伺う。 上司が部下の評価（考課）を実施する場合には複数の評価者が必要と考えるがどのように対応されているか。 また評価（考課）が分かれた場合はどのように対応されているか。さらに、本人の主張にはどう対応されるか。</p> <p>④ 最終的な評価が点数化されると伺うが、その意味はなぜか。 また部分的に得意な部分などについては点数化されても、その特徴が表現できないのではないか。</p> <p>⑤ 国はいよいよこれらをふまえて今後本格的に人事考課制度の活用（職員の成績主義）を指示しているが市はどのように対応をされるか伺う。</p> <p>⑥ このような人事考課によっては、上司の評価点が増えることばかりを気にして業務を行うことになれば、公務労働としての全体の奉仕者であるべき職員が、時としては課長がそういうならと個人のための仕事になりかねない危惧をもつがその点はどう考えられるか。</p> <p>⑦ このように今回の人事評価（考課）は様々な問題を含んでいる。その結果、場合によってはパワーハラスメントにもなりかねないと思うがその防止策は考えられているのか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

26番	原田 学 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑧ アベノミクスが成功しない中で新しく「1億総活躍社会」が提起され、いかに日本のGDPを上げるかとの課題に対し、その一つが今回、公務員の「働き方」改革となりました。</p> <p>行政職員こそ、多くの意見をお互いに出しあい、共同して住民の福祉の向上をはかることが本意とされる職場と考えることから、今回の処遇措置など自治体として改めて本来の人材の育成に努めるべきと考えるがどうか。</p>

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。